

ひとあかり

No.20

大仙市社会福祉協議会
神岡支所だより
平成22年1月発行
大仙市神宮寺字蓮沼17
TEL: 0187 (72) 2948
FAX: 0187 (87) 1081

印刷 株式会社フロム・エー



全員で“故郷”を熱唱

故郷（ふるさと）

文部省唱歌

- 一、兔追いしかの山
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷

幸せのワルツ

（星影のワルツの替え歌）

- 一、一度かぎりの人生だ
大事にしようよこの命
みんなで幸せのワルツを歌おう
この世に生まれた幸せを（繰り返し）
明るく楽しく生きようよ



迫力ある和太鼓に圧倒され



十二月小春の陽気で暖かい一日、福祉センターで一人暮らしのお楽しみ会が開催されました。
老人クラブ有志による多彩な演技とすばらしい踊りの熱演と、昔懐かしい演歌の熱唱。また、和太鼓を交えた迫力ある踊りも披露され、会場には大きな歓声と拍手が沸き起こりました。
お酒をたしなみながら昼食のお弁当をご馳走になり、アトラクションと福袋が当たるゲームを楽しみ、その日はまるで童心に戻ったような心境でした。
最後には参加者全員で「故郷」を合唱し、次の再会を誓い合いながら楽しかった一日を終えました。

民生委員 菅原 弘康

100万ドル、みんなの笑顔……!

十二月八日、一人暮らしのお楽しみ会に参加しました。毎年のように参加していますが、今回のお楽しみ会は特に楽しくて良かったと思います。
昼食にお酒をいただき、近くの席の人たちと和気あいあいにお話をしたり、アトラクションやゲーム等でも楽しみました。アトラクションも八石老人クラブの女性委員の皆さん方、本当に上手で感動しました。
これからもお楽しみ会に参加できればと思っております。社会福祉協議会の方々には、お楽しみ会を開催していただき本当にありがとうございます。

戸月 菅原 堅二



行事予定（一月～三月）

- 二月
20日(土) 笑顔あふれるふれあい事業
(ニコニコふれあい広場 in 神宮寺小学校)
- 2月中旬 介護教室・介護者交流会
- 三月
10日(水) まなびとふくしの集い

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

ご協力頂きました募金は、下記のとおりです。

【戸別募金】

(単位：円)

地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額
館越	28,000	蒲	52,200	北4区	19,000
新道	28,600	福島	38,400	北5区	17,600
新丁	62,800	宮田	16,800	北6区	21,600
中町	32,800	上高野	21,800	北7区	13,000
上町	46,400	大浦	35,900	北8区	11,000
岳見	15,200	二夕子沢	5,800	北9区	16,200
裏町	38,400	内大坪	12,000	北10区	16,000
館の北	40,000	八石	27,400	北11区	20,000
下町	45,600	戸月	16,800	北12区	20,800
本郷	104,300	宇留井谷地	65,400	高花	9,600
荒屋	60,000	船戸	19,800	高花	5,000
駅通	51,600	北1区	25,600	合計	1,212,300
駅向	62,100	北2区	10,400		
関金	44,800	北3区	33,600		

【法人募金】

事業所名	金額
高吉建設(株)	5,000
市大曲オート	5,000
刈穂酒造(株)	5,000
小笠原組	5,000
宮原組	10,000
宮原工務店	5,000
大友食堂	5,000
神岡歯科診療所	5,000
神岡診療所	5,000
秋田おほく農協 神岡支店	5,000
東北醤油(株)	100,000
東北日本花火興業	5,000
関セーコン秋田工場	5,000
羽後建設	5,000
ラッキータイガー	5,000
かみおか温泉 嶽の湯	5,000
かみおか電子	5,000
合計	185,000

【職域募金】

事業所名	金額
秋田銀行 神宮寺支店	5,000
マルタク家具店	1,000
神宮寺郵便局	2,000
特別養護老人ホーム 愛幸園	4,800
秋田県畜産試験場	2,860
北橋岡郵便局	1,000
羽後信用金庫 神岡支店	1,000
大仙市役所 神岡総合支所	22,485
すくすくだけっこ園	2,400
かみおか嶽雄館	2,425
大仙市社協 神岡支所	2,500
合計	47,470

【学校募金】

学校名	金額
平和中学校	12,083
神宮寺小学校	9,223
北神小学校	5,800
合計	27,106

【集計】

学校名	金額
戸別募金	1,212,300
法人募金	185,000
職域募金	47,470
学校募金	27,106
団体募金	29,000
募金箱	6,336
その他(利息含む)	1,100
合計	1,508,312

人あかりのみちくさ・19

雄物川に「川岸の小道」ができて、ウォーキングやランニングを楽しんでいる人々が見られます。私も折に触れて歩いています。

十二月初旬にしては旧暦でいう「十一月小春」のいい日差しです。遊歩道の終点には野鳥観察の窓を開けた遮蔽壁があり、オホソクから飛来しているオジロワシやオオワシを遠望できます。残念ながら今日はワシの姿はありません。しかし、雄物川と落ち合う玉川には激しい水面の泡立ちがあちこちに起こっています。そのうち、サケの産卵なのです。上流にも川の騒ぎは連なっています。私は去年の対岸での観察を思い出していました。対岸は背丈を越える藪が一面に広がる川原です。ノイバラの棘に頬をこすられながら苦勞して繁殖の間にたどり着いたのです。砂利に尾で産卵の穴を掘

いのちのいとなみ

り、雌を誘います。産卵の後、砂利を覆います。それが塚となつて幾つも見えます。何匹かの雌は妻を争い、激しくもみ合い、水面は騒ぎの白波を立てます。それが、延長二百メートル程の岸に連なっています。ここから五百メートル上流の玉川橋までの流れでもあちこちでこれが見られます。遺伝子を伝える過酷な営みは、遂げられると命が終わり、その姿を岸や砂利に横たえています。何百という数のなきながら見ると、「恐山」の風景にみえます。ある人はこれを見て、「鮭の霊場」と称していました。霊場のサケはみな日玉がありません。眼の凹みが暗い穴です。これはハシブトカラスが食べたのです。カラスはサケの皮を千切る力が無いのです。ワシたちは生きていくサケを捕らえて筆って食べます。私は、生きものが生きものの命を食べて生きていく光景を目の当たりにしていました。

★あけましておめでとございます。よい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。★昨年は十二月半ばにやっとな雪。雪の無い年末かと思っていたが、なかなかそうはいかない地方だ。風邪など召しませんように。★ところで風邪といえは、「新型インフルエンザ」に感染した人が千四百万人を超えたとのこと。寒さに向かつて季節性インフルエンザも心配である。細心の注意をはらいたいものだ。★平成二十一年を一字で表現すると、「新」とのこと。神岡で「新」に関することは多々あるが、その一つに嶽友大学の「つぼ体操」がある。住民の健康を願っての開講である。正に間違いない。それと「ゴリラ」グループの誕生。これも心と体の健康を願ってのことと思う。★大きな声で歌ったり、仲間と会話したり、大声で笑ったり、何よりも一人きりでないのがいい。身一つあればよい。思いきって一歩を踏み出し、仲間とともに心も体も晴れやかな平成二十二年にしたいものだ。



・香典返しとして
 鈴木 慶一さん(大 浦)より
 黒川 周治さん(宇留井谷地)より
 伊藤 貞治さん(駅 通)より
 鈴木 繁彦さん(北 6 区)より
 鈴木 松四さん(北 6 区)より
 齊藤 憲治さん(北 12 区)より

※社会福祉協議会に寄せられた善意は、所得税申告の際、寄付金控除の対象になります。

皆様方から寄せられました善意に、心から厚くお礼申し上げます。

善意

(九月〜十一月)